

信州大学附属図書館のコロナ禍における 開館状況と利用者サービスについて

徳 永 澄 子	(信州大学附属図書館)
滝 口 智 子	(信州大学附属図書館中央図書館)
武 居 総 子	(信州大学附属図書館教育学部図書館)
後 閑 壮 登	(信州大学附属図書館医学部図書館)
津 田 ひろ子	(信州大学附属図書館工学部図書館)
濱 田 祐 次	(信州大学附属図書館農学部図書館)
寺 澤 真由美	(信州大学附属図書館繊維学部図書館)
武 田 佳 代	(信州大学附属図書館)

信州大学附属図書館では、コロナ禍において利用者や職員の感染を防止するため、感染対策をしながら図書館の開館・利用者サービスを行った。本稿では、信州大学附属図書館各図書館（以下、各図書館）における2020年2～11月の開館状況及び利用者サービスの実施状況を報告する。

1. 附属図書館全体で実施した対応

国内において新型コロナウイルスの感染者が増加する状況下、日常生活や業務で感染拡大防止対策をとることが迫られるなか、附属図書館として次の指針を全館で共有した。指針に従い、2・3月中は閲覧席の減少や手指消毒薬設置などの感染対策を各図書館の判断で行いながら、年間計画どおり図書館を開館した。

※指針

- ・信州大学内の組織として、附属図書館全体が信州大学の決めるルール等に準拠すること
- ・各学部図書館・中央図書館は、各キャンパスのある地域や学部の状況を踏まえること
- ・大学の図書館として、基本的に誰に何をサービスする必要があるのか、我々は何のために存在しているのかを考えること

1-1. 附属図書館ウェブサイトにおける利用者サービス情報の提供

各図書館において、閲覧席の減少など平時とは異なる利用者サービスが行われ始めたため、2月末に附属図書館ウェブサイト「新型コロナウイルス感染拡大防止対策について（全館まとめ）」ページに各図書館の利用者サービス状況を集約して提供した。附属図書館トップページにこのページへリンクするバナーを設置し、本稿執筆時も各図書館の状況をまとめて掲載し続けている。

1-2. 前期授業開始に備えて

信州大学では、3月18日「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」において、授業における留意事項(体調のすぐれない者を受講させない、手洗い・換気の実施、受講者の多い授業の時間短縮)とともに、各図書館も同様の対応(風邪症状のある方・学外利用者の入館のお断り、開館時間の短縮、座席数の縮小)をすることにして、4月からの前期授業開始に備えた。

1-3. 【集中対策措置】限定窓口対応(4月3日~4月21日)

都市部での感染拡大に伴い、信州大学では、4月2日「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」を出し、通学による授業開始を5月11日まで延期するとともに、この間(4月3日~5月10日)を「集中対策期間」として、令和2年度前期は大学構内での授業は行わず、e-Learningを活用した授業を可能な限り行うとされた。この通知により、「図書館業務は、予約による窓口での貸出・返却業務に限定し、教室、図書館・図書室、体育館その他の施設は、教職員が業務として使用する場合を除き、閉鎖する」こととなった。

これを受け、附属図書館では、4月2日「集中対策措置期間の図書館の臨時休館について(お知らせ)」により、図書館は臨時休館し学生・教職員の入館を取りやめたが、窓口限定して利用者サービスを実施することとした。事前に図書館ポータルMyLibrary(以下、MyLibrary)・電話・メールで申込の上、所蔵する図書の貸出と雑誌の複写物の提供、他機関からの資料借用と複写物の提供を、学生・教職員に対して窓口で行った。窓口の受け渡しで接する時間を短くするため、私費の複写料金と送料を附属図書館が負担した。

当初、5月10日までとしていたが、全都道府県に緊急事態宣言が発出されたことにより、限定窓口対応は4月21日までとなった。

1-4. 【緊急事態宣言(全都道府県)】臨時休館・資料の郵送(4月22日~5月19日)

政府が全都道府県に対して、4月16日「緊急事態宣言」を発出したことにより、大学として、4月20日「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」が出され、用務のある教職員以外の入構が禁止となり、図書館は閉鎖とされた。

これを受けて、附属図書館では、4月21日「附属図書館の新型コロナウイルス感染症予防対策強化について(お知らせ)」により、重点業務以外を在宅業務とし、窓口での対応を休止したが、資料(所蔵する図書と雑誌の複写物、他機関からの資料借用と複写物)を学生・教職員が指定する住所へ郵送で提供することとした。他機関からの借用資料についても、所蔵館から承諾が得られた場合に限り学生・教職員の自宅へ郵送した。各図書館から学生・教職員へ郵送する料金を附属図書館が負担することを附属図書館長が決定した。ILLも依頼・受付業務とも平時より対応スピードは遅くなるが継続して行うこととした。

この措置は、当初5月6日までとしていたが、緊急事態宣言の延長に伴い、5月19日まで継続した。

1-5. 【緊急事態宣言解除（39県）後】附属図書館のサービス再開（5月20日以降順次）

政府が長野県含む39県に対して、5月14日緊急事態宣言を解除したことにより、大学として、5月13日「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究 教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について（通知）」が出され、学生・教職員の入構制限が解除された。

これを受けて、附属図書館では、5月15日「附属図書館のサービス再開について（お知らせ）」により、必要な感染拡大防止対策をした上で、図書館ごとに順次サービスを再開していくこととした。5月20日に中央図書館・繊維学部図書館が、限定窓口対応での資料受渡し再開や学年・人数・座席利用の制限や開館日・時間を短縮したうえで入館を再開したことをはじめに、順次、他の図書館も再開した。

また、入構制限解除後は、自宅にインターネット環境が整わない学生がe-Learning授業を受けるため、キャンパス内にWi-Fiエリアの設置が求められ、附属図書館でも中央図書館と一部学部図書館にてWi-Fiエリアを設置し優先的に座席を提供した。（図1）（図2）



図1 中央図書館入館ゲート付近



図2 中央図書館1階Wi-Fiスポット

5月25日「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で（附属図書館長からのメッセージ）」を附属図書館ウェブサイトへ掲載した。

以降、各図書館が所在する地域や学部の感染状況をふまえ、各図書館ごとに開館・利用者サービスを行った。

2. 限定窓口対応・資料の郵送における業務

図書館を休館しての限定窓口対応や資料の郵送対応では、平時とは異なる利用者サービスを行い、業務の対応にも苦慮したため記しておく。

限定窓口対応では、図書資料を学生・教職員の申込により、図書館職員が取置きして貸出を行った。蔵書検索OPACの予約機能では、未貸出資料について所蔵館を受取館とした予約ができないため、図書の取置申込をMyLibraryのリクエスト機能で代用した。

資料の郵送対応も、平時に実施しないため、図書館システムに業務フローに適した機能がなく他の機能で代用したり、手作業したりと非効率な部分があった。資料の郵送対応で必要となった業務を列記する。

[資料の郵送対応にかかる業務]

- ・ 申込受付

MyLibraryのリクエスト機能で行い、利用者申込画面を郵送申込みに対応したメッセージを修正した。

- ・ 図書の抽出し

図書の抽出しに必要な書名・配架場所・請求記号などの情報の一覧に適切な帳票がなかったため、リクエスト機能の申込画面をプリントアウトし、蔵書検索OPACでその都度調査し図書の抽出しを行った。

- ・ 郵送先の確認

申込時に記載がない場合、メール等で本人に確認した。

- ・ レターパックの使用

平時はゆうパックで他機関への現物貸出を行っているが、レターパックも利用した。レターパックは規定のサイズや重量に収まれば、郵送料が安く、宛名書きが簡便、梱包用封筒や郵送料の計算が必要なく、発送業務の負担軽減となった。郵便物の追跡が可能だが損害賠償がないため、本学図書館所蔵図書の郵送に限り使用した。

- ・ 梱包資材の購入

大型の梱包用封筒を購入した。

また、平時には学内の他図書館の図書を最寄りの図書館へ取寄せする「配送取寄せ」を行っているが、配送本を中央図書館で集約・発送することにより、在宅勤務により少数の出勤者で業務を行う学部図書館及び学部庶務担当の負担軽減を図った。

資料の郵送対応は、緊急事態宣言（全都道府県）により臨時休館をした4月22日～5月19日を中心に実施したが、それ以降も帰省先でe-Learning授業を受講する学生や、遠方の滞在先で研究活動をする教職員が希望した場合には、引き続き資料の郵送対応を行った。

4・5月の図書の郵送数は641件、複写物の郵送数は45件となった。本稿執筆時の集計では、4～11月において図書の郵送数は691件、複写物の郵送数は147件となった。

以上のとおり、2020年3月から5月19日の間に附属図書館全体として指針に基づき、共通の方向性でコロナ禍の開館業務や利用者サービスの提供を行った。

3. 各図書館におけるサービス提供状況の推移

以下に、2020年2月28日から11月30日の間に、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら各図書館で提供してきたサービスの状況を報告する。各図書館の書きぶりによる違いはご容赦願いたい。また、本稿末に別表として、各図書館におけるサービス提供状況の推移についての時系列表を付す。

3-1. 中央図書館

中央図書館では、例年、春季休業中に閲覧室を中高生に開放する「ミライの信大生応援プロジェクト」を実施しているが、2月28日に休止した。それでも3月時点では、大学の方針に沿って、平日17時までの短縮開館や、対面の着席とならないよう座席の配置を変更するなどして、4月からも開館を継続できるよう準備していたが、4月3日から窓口対応のみとなり、新入生図書館ガイダンスもオンラインのみでの実施となった。臨時休館中は、利用者の自宅への資料郵送を試行錯誤しながら行うことになり、多忙な日々となった。

5月20日以降、窓口や館内利用を順次再開するにあたり、カウンターでの感染防止対策として、ポリエチレンシートを天井付近から吊るし、利用者と対面で会話する際の仕切りとした。このシートは定期的に交換している。また、自宅でインターネット環境を用意できない学生がいることを考慮し、1階自由学習スペースと2階共同学習スペースを、Wi-Fiスポット専用席として提供することとした。また、館内での混雑を避けるため、Wi-Fiスポットと館内閲覧それぞれの受付票を上限枚数を決めて作成し、入館時に利用者にどちらかの受付票を1枚取ってもらい、おおよそその入館者数の管理を行うこととした。また、12時30分から13時15分（7月13日からは13時までに変更）の間は利用者に退館いただき、館内の机やトイレなどの消毒作業を行う時間とした。5月27日からは、紫外線を照射して除菌をする図書除菌機を導入し、返却資料の受け取り後すぐに除菌を行うこととした。

6月15日以降、館内利用可能な学年の制限をなくすにあたり、Wi-Fiスポット専用席については、松本キャンパスの各部局でも同様のスペースを提供していることもあり、図書館でしか提供できないサービスに注力するため、自由学習スペースのみでの提供に変更した。その後、期末試験期間を迎え、7月13日から開館時間を20時まで延長した。夜間開館は、時間外職員の勤務が今年度初めてであったこともあり、常勤職員も交代で一名待機して実施した。夏季休業に入り、閉館時刻は一旦17時に戻したが、後期の授業開始に合わせて、9月28日から平日の開館時間を20時まで延長した。10月5日からは、入館時の受付票の配布をやめ、在館者数の定時カウントで館内の混雑状況の管理を行うこととした。その後、学生から更に開館時間を延長して欲しいとの要望があったことから、11月2日から平日の開館時間を22時まで延長し、土曜開館を通常より短縮した10時から17時で再開した。これにより平日については通常の開館時間に戻した。

11月6日からは、共同学習スペースの一部の机にアクリル板の仕切りを設置し、二人席の提供を開始した。（図3）この二人席ではマスクを着用した上で、会話を可能とした。11月下旬から、館内ではマスクを常時着用することとし、入館時の声かけや館内掲示、巡回、館内放送での呼びかけを行っている。

コロナ禍を経て、利用者の理解・協力があってこそ図書館のサービスを継続できることを痛感している。この場をお借りして感謝したい。



図3 2階共同学習スペース

3-2. 教育学部図書館

教育学部図書館では、2020年度中に改修工事が計画されていたため、年度当初より改修工事に向けた準備を進めつつ、新型コロナウイルス感染症対応に頭を悩ませることとなった。工事は、予定通り2020年9月に着工し、工事期間中は仮設図書館と臨時事務室にてサービスを行っている。ここでは、教育学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移について、改修工事との関連も含めて報告したい。

4月当初は、大学全体の通知を受けて、附属図書館全体で限定窓口対応（事前予約した図書の貸出・返却・複写物の提供のみ）や資料の郵送サービスが決まり、各学部図書館も同様の手順で行うこととなった。感染拡大の状況によってサービス内容を変更せざるを得ない状況であったが、中央図書館の方針をもとに学部内での検討をスムーズに進めることができたことは良かった。

5月中旬には緊急事態宣言が解除となり、他キャンパスの図書館は徐々にサービスを再開していたが、教育学部図書館の再開については、教育学部のある長野（教育）キャンパスの方針に合わせる必要があり、再開時期、サービス内容について学部内の調整に手間取った。6月以降、教育学部内での実験・実習等の授業について対面授業が再開されることに伴い、ようやく教育学部図書館においてもサービスを再開することができた。

6月のサービス再開に際し、館内の感染拡大防止策を強化した。館内の掲示物の追加、カウンターや事務室内の飛沫感染防止対策を行った。（図4）（図5）座席数の削減については、対面に座らないよう、使用できない机椅子に掲示を貼って対応した。館内のアルコール消毒については、担当者と時間を決めて定期的実施するよう徹底した。返却図書は、すぐに書棚に戻さず、ウイルスが検出されなくなるという3日間（72時間）隔離しておくこととした。

7月には、改修工事前の引越に向けた作業を本格的に開始した。8月に引越作業を行い、結果的には夏季休暇を挟み1ヵ月以上図書館を閉館することとなった。その後、9月7日から仮設図書館でのサービスを開始したが、当初より学生の学習スペースは十分に確保できない状況であった。そのため、仮設図書館には、実質、長時間の滞在はできないこととなり、新型コロナウイルス感染症対策の点では幸いであったとも言えるが、利用者数が少なくなることは残念であった。

改修後の図書館において、ウイズコロナ、ポストコロナを見据えた学修空間、什器の配置など工夫が必要であると思われるが、まだ参考にできる事例が少なく手探りの状況になるだろう。図書館改修工事と新型コロナウイルス感染症対応が重なってしまったことは大変であったが、今後の図書館サービスについて、何が必要か、何ができるのかを考えるきっかけとなった。



図4 カウンターの飛沫感染防止対策



図5 ゴミ袋による仕切り（事務室）

3-3. 医学部図書館

医学部図書館では、2月28日に中央図書館の対応に準じる形でグループ学習室の利用休止、手洗い・マスク等の呼びかけ掲示といったCOVID-19対策を開始している。その後、大学・附属図書館の対応方針調整に合わせ、3月18日付で「夜間・土曜開館・特別利用の休止」「学外者利用の休止」「館内閲覧席の削減」といった対応を執ることを決定した。4月1日からこれら対応が始まった矢先、大学全体の方針として4月3日以降、事前予約資料貸出等の「限定窓口対応」となった。

「限定窓口対応」および緊急事態宣言期間中のサービスについては附属図書館全館共通の対応であるが、医学部図書館では、医学系の電子資料に関する問い合わせ対応やWebサイトでの状況まとめが一定のウェイトを占めていた。特に医中誌Webは、自宅待機中の学生への課題等で活用されていたようで、臨時リモートアクセスに関する問い合わせが多くあった。

5月25日からは利用者の書架立入りを含む資料利用を再開し、6月16日には閲覧席の利用を再開した。医学部図書館での感染対策・利用者対応は、12月時点でもこの際の状況がベースとなっているため、ここで説明しておきたい。

貸出・返却については、利用者と職員の接触を減らす意図で、自動貸出装置およびブックポストの利用を推奨することとした(図6)。カウンター周辺にはアクリル板を設置し、ゲートでの入退館記録の徹底を呼びかけた。閲覧席は座席間隔や配置を考慮し、使用しない座席の明示や椅子自体を撤去している(図7)。換気については、開閉可能な窓や入口自動ドアを常時開けておく形とし、閲覧席利用再開にあたっては、館内の座席やPC等の消毒作業を1日3回(11月以降は2回)実施している。

医学部図書館の利用者は、自習スペースとしての利用が多いという実態があり、資料・閲覧席利用の再開によって最低限のサービスが提供できるようになった。一方で、特別利用(24時間利用)は引き続き休止であるほか、特に医学科生については授業スケジュールや臨床実習の関係上、17:00までの来館自体が困難な場合もあった。よって、以降は開館時間延長を中心に順次サービス再開をすすめることで、学生のニーズへの対応を図っている。8月18日からの夜間開館一部再開(19:00まで)は、臨床実習に向けた共用試験CBT(8月下旬)やOSCE(9月中旬)を考慮して計画したものである。また11月から平日8:45-21:00とした背景には、学部内会議から国家試験対策の学習スペース確保のために開館時間延長要望があり、検討のタイミングと重なったことが追い風となった。年明けから2月にかけては、学内の試験、さらに医療系国家試験の時期となることから、2021年1月以降土曜開館も再開予定である。特別利用については学生の要望はあるものの、職員不在での利用であるため換気や消毒等の徹底に課題があり、再開の目途は立っていない。

サービスの復旧にあたっては、臨床実習をはじめ学生の状況に合わせて対応したことで、入館者数も徐々に伸びてきているようである。引き続き、感染対策とのバランスを考慮しつつ、できる限りの利用者サービス提供を続けていきたいと考えている。



図6 自動貸出装置周辺



図7 2階閲覧室内

3-4. 工学部図書館

工学部図書館では例年、12月にインフルエンザ・ノロウイルスへの感染予防のために、うがい・手洗いを励行する手作りポスターを掲示している。2020年2月には、このポスターに「新型コロナウイルス」の文字を追加した。掲示当初には、1年以上もこのポスターを貼り続けることになるとは予想だにできなかったことである。

2020年3月初旬、感染の早期終息は見込めないと予想し「工学部図書館BCP(新型コロナウイルス感染症版)」を作成、工学部図書館長の下で業務を遂行していくこととした。ただし、長野(工学)キャンパスは本部キャンパスとは所在地が異なるため、大学全体での対策方針のほか、地域の感染状況に応じた長野(工学)キャンパス独自の対策方針にも対応しなくてはならず、連日のように細かい調整を行う必要が生じた。

4月から6月の間は、各種サービスの提供状況が目まぐるしく変更したため、利用者からの問い合わせが相次いだ。そこで、正面入口脇の壁面にサービスごとの提供状況一覧をわかりやすく掲示するサインボードを、発案者の係員を中心に手作りで作成・掲示した。(図8)

また、アルコール浸潤不織布による館内消毒は3月初旬から実施していたが、さらに、6月からはカウンターでの飛沫防止対策として、塩ビパネルとフロアスタンドを組み合わせた衝立を設置した。(図9) なお、開館時間を午前・午後の2部制とし、職員による昼の閉館時間中の館内消毒作業は継続して実施している。

閲覧席に関しては、普段から混雑し空気の循環も滞りがちな1階リフレッシュコーナーと2階グループ学習室の使用を2月末に停止し、3月9日からは1階閲覧室の4人掛けを斜向かいの2人掛けに、2階のオープンスペースをサイレントエリアに変更して2人掛け机12本のみに削減した。さらに6月末からは各席間の距離を十分確保するため館内全体で70席に削減し、座席位置を固定するため注意事項を印刷したシールを貼付し利用ルール順守の呼びかけを行っている。なお、使用不可の机上にはサインを置いている。(図10)

今後、長野(工学)キャンパスでの授業形態が対面式に復旧し、全ての学生が戻ってくるまでは、残念ながら上記体制でのサービス提供にとどめざるを得ない。

感染症流行が始まってからはや1年が過ぎた。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を館員一同強く願いつつ、2021年も引き続き館内での感染予防を徹底し、利用者が安心して利用できるサービスの提供に努めていきたい。



図8 工学部図書館正面入口脇掲示



図9 カウンター飛沫防止衝立



図10 2階閲覧席

3-5. 農学部図書館

農学部図書館では2020年3月、新型コロナウイルス感染拡大を見越し、大学全体の方針や、学部所在地である上伊那地域の状況も考慮に入れ、図書館長との協議の上「農学部図書館BCP(新型コロナウイルス感染症版)」を作成し、計画に基づいた業務を遂行していくこととした。また、4月3日から5月19日の間は、附属図書館全体の開館・サービス方針に従い、窓口での対応、および資料郵送等の対応を行った。

緊急事態宣言解除以後、6月8日から館内書架利用を再開した。再開にあたり、ビニールシートとのぼり用ポールを組み合わせた飛沫防止用衝立を設置した臨時カウンターを新たに設けた(図1 1)ほか、現在のサービス状況や来館時の注意事項を図書館入口および館内に掲示し、利用者への情報提供を行った。(図1 2)

6月22日の館内座席一部利用再開以降は、各席間の距離を十分確保するために、館内の机をすべて一人掛けにするよう席数を削減(11月時点で43席)(図1 3)、座席位置を固定するため使用不可の机の上に注意事項を印刷したシールを貼付した。また、館内の消毒作業を行うために、一日の開館時間のうち30分間、利用者に一時退出をしてもらうこととした。

農学部では、後期は可能な限り対面授業を実施する方針としており、あわせて図書館も、前期定期試験期に実験的に行った平日の夜間開館を、例年より短時間であるが再開することとした。11月時点での開館時間は「平日のみ8:45~20:00」だが、まだ昨年度の開館状況にまで復旧することは難しい状況にある。オンライン等来館せずに利用できるサービスの充実も含め、今後の開館方針を検討していきたい。

最後に、今年度農学部図書館で実施した主なオンライン・サービスとして、下記2点を紹介する。

- ① キャンパスに来られない学生向けの新たな学修支援として、Web会議システム(GoogleMEET)を活用したオンラインでの学習相談サービス「オンライン・ラーニング・アドバイザー」を、6月から開始した。
- ② 例年講師をキャンパスに呼んで開催していたデータベース講習会(SciFinder、Web of Science)について、今年度はオンライン形式で、希望学部との合同開催で実施した。



図1 1 館内臨時カウンター



図1 2 入口脇掲示板(6月8日時点)



図1 3 1階ホール座席

3-6. 繊維学部図書館

5月20日より再開し、上田キャンパスに入構を許可された学生と教職員に対し、図書館内へ入館して以下のサービスを提供した。

- 開館時間は8:45-17:00(平日のみ)
- 図書の貸出・返却
- 雑誌記事・論文等, 持出不可資料の複写
- 文献複写等の申込と受取
- 電子資料のダウンロード, ユーザー情報の登録・更新(指定場所のみ、申込制)

【入館の際の注意事項】

- マスクの着用必須
- 30分以内の利用
- 館内の混雑状況によっては入館制限を行う可能性あり
- 閲覧席の利用(学習等の滞在利用)不可

再開に際し、カウンターにはビニールカーテンを設置し、閲覧席の椅子を撤去した。

7月6日より、上記のサービスに加えて閲覧席利用を再開し、以下のような運用とした。

- 開館時間は平日のみ8:45-17:00 (12:30-13:30の間、消毒作業のため一時閉館)
- 座席数は46席(通常時169席)で、密集しないように使用可能な座席を配置
- 座席利用はカウンターでの申込制
- 図書館でのオンライン講義受講は不可
- 学外者は利用不可(閲覧席だけでなく、図書の貸出等すべてのサービスを休止中)



図 14 館内座席表



図 15 閲覧席の様子



図 16 座席番号札

8月28日から9月13日まで、上田キャンパスの行動基準が「レベル4」に引き上げられたことから、閲覧席の利用を停止した。教職員の利用に対応するため図書館は開館したが、学生の利用は原則不可で、前もって連絡を受けた4年生以上の学生に対してのみ、5月20日時点のサービスを提供した。

9月14日以降は、7月6日の状態に戻り、現在に至る。

4. 今後に向けて

コロナ禍への対応は、利用者と職員の感染防止を最優先とした上で、大学等の方針に従い、検討を行ってきた。経験のない事態に直面し十分な対応ができなかった点もあるが、これまでの実践を踏まえて、コロナ禍に限らずさまざまな事態を想定し、引き続き利用者の研究・学びを止めないために備えていきたい。

別表 1. 中央図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用		その他
				学内者	学外者		閲覧席	グループ学習室	
2020	2		通常通り	○	○	通常通り		○	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で」
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・仕子の配置配慮・学外利用者の休止	通常通り	○	○	通常通り	3.30- 閲覧席削減 (610席→446席)	○	(コロナ対策) ▶手指消毒薬設置(2020.3～) ▶図書消毒機導入(2020.5～) ▶学生のLLL経費(貸借送料、複写料金)は図書館経費で負担(2020.4～) ▶開館再開後も帰省している学生に対して資料の郵送を継続
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口に限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態措置 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉鎖 ・用務のある教職員以外の人構禁止	4.3-4.21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 4.22- 閉館	△(4.3-4.21) *窓口対応のみ ×(4.22-)	×	4.3-4.21 窓口で対応 事前予約した図書の出貸・返却、複写物の提供のみ 4.22- 予約した図書、複写物の郵送	×(4.3-)	×	(オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成(2020.5～) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「来館せずに利用できるオンライン資料について」作成(2020.4～) ▶ブログによる電子ブック紹介ページ作成(2020.4～) ・電子ブックで読める【共通教育の参考書】 ・1年生必修科目!【学術リテラシーの課題図書】 ・【教員お薦めの本】 ・持続可能でよりよい世界を目指す国際目標【SDGsの本】 ・学修の入門にぴったりな【新書】 ・電子ブックで読める【英語多読本】 ▶新入生図書館利用ガイダンスのオンライン教材配信(eALPS)(2020.4～) ▶各館の文献検索ガイダンス資料の公開(eALPS)(2020.8～) ▶企画展示をweb上でも実施(2020.9～)
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知)」 ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒	5.20- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	△(5.20-5.24) *窓口対応のみ △(5.25-) *入館は学年の制限あり	×	5.20-5.24 窓口で対応 事前予約した図書の出貸・返却、複写物の提供のみ 5.25- 入館可能者は通常通り 学部1-3年生は窓口で資料の出貸	5.25- △利用者を制限 4年生以上+教職員のみ可 閲覧50名・Wi-Fi150名 午前/午後の入替制 閲覧席削減(446席→108席)	×	▶(学修支援) ▶個別学修支援は6.9～オンラインで対応 11.2～オンライン/対面支援を併用 ▶ワークショップ「レポートの書き方講座」の動画を公開(eALPS)
	6		平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○(6.15-)	×	6.15- 通常通り	6.15- △人数を制限 閲覧80名・Wi-Fi25名 午前/午後の入替制	×	
	7	試験期	7.13- 平日の開館時間延長(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	7.13- △人数を制限 閲覧140名・Wi-Fi25名 午前/午後/夜間の入替制 閲覧席追加(108席→165席)	×	
	8	夏季休業	8.18- 平日の開館時間短縮(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	8.18- △人数を制限 閲覧80名・Wi-Fi25名 午前/午後の入替制	×	
	9	後期授業開始 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する	9.28- 平日の開館時間延長(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	9.28- △人数を制限 閲覧140名・Wi-Fi25名 午前/午後/夜間の入替制	×	
	10		平日 8:45-20:00 *土日祝は休館	○	×	通常通り	10.5- △人数を制限 午前/午後/夜間の入替制 ※混雑状況の把握方法を受付票から在館者数の定時カウントに変更	×	
	11		11.2- 平日の開館時間延長(8:45-22:00) 土曜開館の短縮再開(10:00-17:00) *日祝は休館	○	×	通常通り	11.6- 閲覧席追加 (165席→180席) ※2階共同学習スペースの一部机にアクリル板を設置し二人席とする(対話可) 11.16- △人数を制限 午前/午後/夜間の入替制(夜間入替廃止)	×	

別表2. 教育学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用		その他
				学内者	学外者		閲覧席	グループ学習室	
2020	2		通常通り	○	○	通常通り	○	○	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で」
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・什器の配置配慮・学外利用者の休止	通常通り	○	○	通常通り	○ 座席数削減のため、机・椅子に標示で対応	○	(コロナ対策) ▶手指消毒用アルコール設置(2020.3-) ▶職員による館内消毒(2020.3.23-1日2回) ▶カウンター・事務室にゴミ袋飛沫防止対策用仕切(ゴミ袋)設置(2020.5.15-) ▶カウンターに飛沫防止対策用衝立(アクリル)設置(2020.6-) ▶学生のILL経費(貸借送料、複写料金)は図書館経費で負担(2020.4-) ▶資料の郵送サービス、図書館再開後も継続 (オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成(2020.5-) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「求館せうに利用できるオンライン教材について」作成(2020.4-)
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態措置 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉鎖 ・用務のある教職員以外の人構禁止	-4.21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 4.22- 閉館	-4.21 △ *窓口対応のみ 4.22- ×	×	4.3-21 窓口で対応(事前予約した図書の出貸・返却、複写物の提供のみ) 4.22- 予約した図書、複写物の郵送	×	△ 閲覧席としてドアを開放し提供	(教育学部図書館改修工事関連) ▶改修工事による閉館 7/27、28、8/1-9/6 ▶仮設図書館設置 9/7-年度末予定 ▶工事により使用不可となった資料のILL経費は学部図書館経費で負担(2020.9-)
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知)」 ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒 【教育学部】5.21「信州大学教育学部・教育学研究科 授業実施における新型コロナウイルス感染症対策について」 ・通学による実験・実習等の授業再開(6/8-)	-5.31 閉館	×	×	予約した図書、複写物の郵送	×	×	
	6		6.1- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	×	×	
	7		平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	×	×	
	8	8.22-10.4 【教育学部】夏季休業 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する 【大学】8.31 長野(教育)キャンパスの行動基準段階を「4【活動制限】」に引き上げ	改修工事による閉館						
	9	【教育学部】 8.31-9.13 長野(教育)キャンパスの行動基準段階「4【活動制限】」 ・学生の入構は原則禁止・事前登録制 9.14- 長野(教育)キャンパスの行動基準段階を「3【感染警戒】」に引き下げ ・学生の入構制限解除	9/7-仮設図書館 平日のみ短縮開館(9:00-17:00) *土日祝は休館	9.7-9.11△ *教職員のみ 9.14- ○	×	仮設図書館にて一部資料のみ利用可			
	10	【大学】10.14「新型コロナウイルス感染症に係る10月14日以降の本学としての対応について(通知)」 ・規制の一部緩和	仮設図書館 平日のみ短縮開館(9:00-17:00) *土日祝は休館	○	×	仮設図書館にて一部資料のみ利用可			
	11	【大学】11.17「新型コロナウイルス感染症に係る11月17日以降の本学としての対応について(通知)」 ・全国的感染拡大を受け、会食時の感染対策を明記、相談窓口を保健所からかかりつけ医に変更	仮設図書館 平日のみ短縮開館(9:00-17:00) *土日祝は休館	○	×	仮設図書館にて一部資料のみ利用可			

別表3. 医学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用		その他
				学内者	学外者		閲覧席	グループ学習室	
2020	2		通常通り	○	○	通常通り	○	○	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で」
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・什物の配置配慮・学外利用者の休止	通常通り	○	○	通常通り	3/18- 閲覧席削減(館内115席→60席)	×	(コロナ対策) ▶手指消毒用アルコール設置(2020.3～) ▶学生のLLL経費(貸借送料、複写料金)は図書館経費で負担(2020.4～) ▶開館再開後も帰省している学生に対して資料の郵送を継続 (オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成(2020.5～) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「来館せずに利用できるオンライン教材について」作成(2020.4～) ▶医学部図書館webサイト「無料公開中の医学系オンライン資料について」作成(2020.4～)
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口に限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態宣言 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉鎖 ・用務のある教職員以外への入構禁止	4/1-4/21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) ※土曜休館・特別利用休止 4/22- 臨時休館	4/3-4/21 △ *窓口対応のみ 4/22- ×	×	×	×	(ガイダンス) ▶文献検索ガイダンスのオンライン対応のため、動画資料作成。(2020.5～)	
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知)」 ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒 【医学部】5/25-臨床実習の一部再開	5/25- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) ※土曜休館・特別利用休止	○	×	5/25- 資料利用再開、館内PC利用再開(立席)	×	×	
	6		平日8:45-17:00	○	×	通常通り	6/16- 閲覧席利用再開(60席)	×	
	7	試験期	平日8:45-17:00	○	×	通常通り	○	×	
	8	夏季休業 【医学部】8月後半から一部授業開始	8/18- 夜間開館一部再開(平日8:45-19:00)	○	×	通常通り	○	×	
	9	後期授業開始 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する	平日8:45-19:00	○	×	通常通り	○	×	
	10	【大学】10.14「新型コロナウイルス感染症に係る10月14日以降の本学としての対応について(通知)」 ・規制の一部緩和	平日8:45-19:00	○	×	通常通り	○	×	
	11	【大学】11.17「新型コロナウイルス感染症に係る11月17日以降の本学としての対応について(通知)」 ・全国的感染拡大を受け、会食時の感染対策を明記、相談窓口を保健所からかかりつけ医に変更	11/2- 夜間開館時間復旧(平日8:45-21:00)	○	×	通常通り	○	×	

別表 4. 工学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用		その他
				学内者	学外者		閲覧席	グループ学習室	
2020	2		通常通り	○	○	通常通り	2.28- 閲覧席削減 (315席→273席)	○	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから : withコロナの時代と呼ばれる中で」 (コロナ対策) ▶手指消毒用アルコール設置 (2020.2.3-) ▶職員による館内消毒 (2020.3.9- 1日3回、4.3- 1日2回、8.21- 1日1回) ▶開館時間中の返却BOX開放 (2020.3.30-) ▶カウンターに飛沫防止対策用衝立 (塩ビパネル製) 設置 (2020.5.13、6.9増設) ▶学生のILL経費 (貸借送料、複写料金) は図書館経費で負担 (2020.4-) ▶開館再開後も帰省している学生に対して資料の郵送を継続 ▶各サービス提供状況一覧を正面外壁に掲示 (2020.6.1-) (オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成 (2020.5-) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「求館せずに利用できるオンライン教材について」作成 (2020.4-)
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・什器の配置配慮・学外利用者の休止	通常通り	○	-3.22 ○ 3.23- ×	通常通り	3.9- 閲覧席削減 (273席→222席)	×	
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口に限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態措置 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉館 ・用務のある教職員以外の人構禁止	-4.21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 4.22- 閉館	-4.21 △ *窓口対応のみ 4.22- ×	×	4.3-22 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ) 4.22- 予約した図書、複写物の郵送	×	×	
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知)」 ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒 【工学部】5.19工学部教員会議において『コロナ感染症拡大防止対策工学部ルール(長野圏域の感染状況に基づくステージ条件および登校・入構許可基準)』を策定 【工学部】5.25 研究室学生の登校再開(事前申請・許可制)	-5.31 閉館	×	×	-5.31 予約した図書、複写物の郵送	×	×	(工学部キャンパス独自対応) ▶2階グループ学習室、閲覧室をe-learning用教材撮影場所として提供(2020.4.3-5.31) ▶学生のキャンパス入構が事前登録・許可制の期間中は、『予約図書貸出可能通知メール』が「入構許可証」を兼ね、工学部図書館のみ立ち入り可能とする。(工学部長了承)
	6		6.1- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	6.1-12 △ *窓口対応のみ 6.15-29 △ *書架スペース立入可、閲覧席使用不可 6.29- ○	×	6.1-12 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ) 6.15- 通常通り(書架スペースへの立入可) 6.29- 通常通り(閲覧室試用可)	-6.26 × 6.29- 閲覧席削減(222席→70席) 午前/午後の入替制	×	
	7	7.30-8.7 【工学部】前期定期試験	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧席70席、午前/午後の入替制	×	
	8	8.8-9.27 【工学部】夏季休業 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する 【大学】8.31 長野(工学)キャンパスの行動基準段階を「4」に引き上げ	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧席70席、午前/午後の入替制	×	
	9	9.28 後期授業開始 【工学部】9.1-9.11 キャンパスステージ2への引上げ ・学生の入構は原則禁止・事前登録制	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	9.1-11 △ *窓口対応のみ 9.14- ○	×	9.1-11 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ) 9.14- 通常通り	9.1-11 × 9.14- 閲覧席70席、午前/午後の入替制	×	
	10	【大学】10.14「新型コロナウイルス感染症に係る10月14日以降の本学としての対応について(通知)」 ・規制の一部緩和	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧席70席、午前/午後の入替制	×	
	11	【大学】11.17「新型コロナウイルス感染症に係る11月17日以降の本学としての対応について(通知)」 ・全国的感染拡大を受け、会食時の感染対策を明記、相談窓口を保健所からかかりつけ医に変更 【工学部】11.17-24 キャンパスステージを1Cから1Bに引き上げ ・研究室登校学生の人数制限(申請・登録は不要)	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧席70席、午前/午後の入替制	×	

別表5. 農学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用	その他
				学内者	学外者			
2020	2		通常通り (平日8:45-21:00、土曜11:00-18:00) *日祝は休館	○	○	通常通り	通常通り	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で」 (コロナ対策) ▶手指消毒薬設置 (2020.3-) ▶開館時間中の返却BOX開放 (2020.4.3-) ▶学生のILL送費(貸借送料、複写料金)は図書館経費で負担 (2020.4-) ▶開館再開後も帰省している学生に対して資料の郵送を継続 (メール・電話対応) ▶返却図書を72時間隔離後返却処理 (2020.5-) ▶館内臨時カウンターを設置 (飛沫防止用ビニール衝立付) (2020.6.8-) ▶各サービス提供状況一覧を入口掲示板に掲示 (2020.6.8-)
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・仕子の配置配慮・学外利用者の休止	休業期開館(平日8:45-17:00) *土日祝は休館	○	○(-3.22) ×(3.23-)	通常通り	3.22 閲覧席削減(135席→61席)	
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態措置 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉鎖 ・用務のある教職員以外への入構禁止	4.3-4.21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 4.22- 閉館	△(-4.21) *窓口対応のみ ×(4.22-)	×	4.3-21 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ) 4.22- 予約した図書、複写物の郵送	×	(オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成 (2020.5-) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「来館せずに利用できるオンライン教材について」作成 (2020.4-)
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13「『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知)」 ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒	-5.24 閉館 -5.25 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	×(-5.24)	×	-5.24 予約した図書、複写物の郵送 5.25- 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ)	×	(農学部キャンパス独自対応) ▶学生のキャンパス入構が事前登録・許可制の期間中は、『予約図書貸出可能通知メール』が「入構許可証」を兼ね、農学部図書館のみ立ち入り可能とする。(農学部長了承) ▶オンライン・ラーニング・アドバイザー(オンラインによる学習相談サービス)の実施(2020.6.9-) ▶館内企画展示をweb上(ブログ)にも掲載(2020.10-) ▶オンラインでのデータベース講習会を実施(希望学部との合同開催) 10.14 SciFinder講習会 12.3 Web of Science講習会
	6	【農学部】6.1「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除に伴う農学部の今後の措置について(6月1日適用)」 ・伊那キャンパスの入構制限が一部緩和	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	△(-6.7) *窓口対応のみ ○(6.8-)	×	-6.7 窓口で対応(事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ) 6.8- 通常通り	6.22 閲覧室のみ座席復旧(ホール利用不可) 座席数削減(61席→32席) 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	
	7	7.30-8.7 【農学部】前期定期試験	-7.19 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 7.20- 平日の短縮開館時間延長(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧室座席32席 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	
	8	8.8-9.26 【農学部】夏季休業 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する 【農学部】8.5【伊那キャンパス】後期授業基本方針及び夏季休業中の過ごし方等について(通知) ・後期授業方針：可能な限り対面授業を実施	-8.7 平日の短縮開館時間延長(8:45-20:00) *土日祝は休館 8.8- 休業期開館(平日8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	閲覧室座席32席 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	
	9	9.27 後期授業開始	-9.26 休業期開館(平日8:45-17:00) *土日祝は休館 9.27- 平日の短縮開館時間延長(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	9.27 ホール一部利用再開 座席数一部復旧(32席→43席) 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	
	10	【大学】10.14「新型コロナウイルス感染症に係る10月14日以降の本学としての対応について(通知)」 ・規制の一部緩和	平日のみ短縮開館(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	館内座席43席 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	
	11	【大学】11.17「新型コロナウイルス感染症に係る11月17日以降の本学としての対応について(通知)」 ・全国的感染拡大を受け、会食時の感染対策を明記、相談窓口を保健所からかかりつけ医に変更	平日のみ短縮開館(8:45-20:00) *土日祝は休館	○	×	通常通り	館内座席43席 消毒作業のための利用者一時退会あり(30分)	

別表 6. 繊維学部図書館における新型コロナウイルス感染症対策に伴うサービス提供状況の推移

年	月	国・県・大学の対応	開館時間	利用者		資料の利用	施設の利用		その他
				学内者	学外者		閲覧席	グループ学習室	
2020	2		通常通り	○	○	○	○	○	5.25 附属図書館長からのメッセージ 「信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で」
	3	【大学】3.18「新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度の授業等について(通知)」 ・2.附属図書館(中央図書館)の利用について 開館時間短縮・什器の配置配慮・学外利用者の休止	通常通り	○	○(-3.22) ×(3.23-)	○	○	○	(コロナ対策) ▶学生のLLJ経費(貸借送料、複写料金)は図書館経費で負担(2020.4~) ▶開館再開後も登校できない学生に対して資料の郵送を継続 (オンラインでの情報提供) ▶全館のサービス状況まとめサイトを作成(2020.5~) ※2020.5.19までは全館統一の対応 ▶webサイト「来館せずに利用できるオンライン教材について」作成(2020.4~) ▶ブログによる電子ブック紹介ページ作成(2020.4~)
	4	【大学】4.2「令和2年度の通学による授業実施延期に伴う集中対策措置について(通知)」 ・オンライン授業とする ・図書館業務を窓口に限定 【国】4.16緊急事態宣言(全国) 【県】4.17緊急事態措置 【大学】4.20「新型コロナウイルス感染症『緊急事態宣言』の全都道府県への拡大を踏まえた対策について(通知)」 ・図書館は閉鎖 ・用務のある教職員以外への入構禁止	-4.21 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 4.22- 閉館	-4.21 窓口対応のみ 4.22- ×	×	-4.21 窓口で対応 事前予約した図書の出貸・返却、複写物の提供のみ 4.22- 予約した図書、複写物の郵送	×	×	
	5	【国】5.14緊急事態宣言解除(39県) 【大学】5.13『新型コロナウイルスの感染拡大を防止する研究教育等の活動指針』及びこれに基づく今後の措置について(通知) ・入構制限解除 ・密を避ける配慮/換気/1日1回以上の消毒	-5.19 閉館 5/20- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	-5.19 × 5/20- ○	×	-5.19 予約した図書、複写物の郵送 5/20- ○	×	×	
	6		平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館	○	×	○	×	×	
	7	試験期	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *土日祝は休館 7.6- 平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *12:30-13:30 消毒のため一時閉館 *土日祝は休館	○	×	○	-7.5 × 7.6- △ 46席(169席中)利用可 座席指定/午前午後入替	×	
	8	夏季休業 【繊維学部】8.28上田キャンパスの信州大学行動基準の段階を「3」から「4」に引き上げ	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *12:30-13:30 消毒のため一時閉館 *土日祝は休館	-8.27 ○ 8/28- 教職員と許可された4年生以上のみ	×	-8.27 ○ 8/28- 2,3年生は郵送対応、教職員と許可された4年生以上のみ可	-8.27 △ 46席(169席中)利用可 座席指定/午前午後入替 8/28- ×	×	
	9	後期授業開始 【大学】8.28「令和2年度後期における午後の授業開始時刻等について(通知)」 ・オンライン授業と対面授業が混在する 【繊維学部】9.14上田キャンパスの信州大学行動基準の段階を「4」から「3」に引き下げ	平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *12:30-13:30 消毒のため一時閉館 *土日祝は休館	-9.13 教職員と許可された4年生以上のみ可 9.14- ○	×	-9.13 2,3年生は郵送対応 教職員と許可された4年生以上のみ可 9.14- ○	-9.13 × 9.14- △ 46席(169席中)利用可 座席指定/午前午後入替	×	
	10		平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *12:30-13:30 消毒のため一時閉館 *土日祝は休館	○	×	○	46席(169席中)利用可 座席指定/午前午後入替	×	
	11		平日のみ短縮開館(8:45-17:00) *12:30-13:30 消毒のため一時閉館 *土日祝は休館	○	×	○	46席(169席中)利用可 座席指定/午前午後入替	×	